

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌工科専門学校
設置者名	学校法人常松学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業 専門課程	環境土木工学科	夜・通信	1230 単位時間	160 単位時間	
	造園緑地科	夜・通信	1440 単位時間	160 単位時間	
	測量情報科	夜・通信	960 単位時間	80 単位時間	
	環境土木・造園 施工管理科	夜・通信	環境土木コース 360 単位時間 造園コース 270 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表する。 https://www.sapporo-kouka.ac.jp/disclosure/ 「カリキュラム・シラバス」に記載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌工科専門学校
設置者名	学校法人常松学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
教育課程編成委員会にて、授業の実施内容や状況の報告を行い、学習成果を検証している。また、学校関係者評価委員会の業界関係者の委員より、業界の要望等の意見をいただいている。それを基に、校長・副校長・主任教員・事務局を中心に授業計画を立て、各教科担任が共通の様式を用いてシラバスを作成している。 シラバスは HP で公表している。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
授業の出席率 (80%以上)、年 4 回の定期試験、レポート、授業態度などを総合的に判断して評価し、各教科 100 点満点中 60 点以上であることを単位修得の条件としている。 各教科の評価方法についてはシラバスに明記し、HP で公表している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 定期試験ごとに各教科の評価点を学科学年ごとにまとめ、各教科の総合得点を基として平均点数によって順位付けしている。また、実習教科については課題への取り組み姿勢、成果、レポート等により評価している。 客観的な指標についてガイドブックに明記し、HP で公表している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校学則において、各学科に定められた授業科目のすべてを履修し、単位を取得した者について卒業を認定することを定めている。また、環境土木工学科及び測量情報科については、国土交通省国土地理院の認定を受けた測量専門養成施設として、測量士補の校内実力（学力）試験に合格することも卒業要件としている。 卒業認定に関する方針についてガイドブックに明記し、HP で公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sapporo-kouka.ac.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌工科専門学校
設置者名	学校法人常松学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sapporo-kouka.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	環境土木工学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2790 単位時間／単位	1230 単位時間	540 単位時間	1260 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	
			3120 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
50 人		29 人	0 人	10 人	6 人		16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会の意見を受け、専任教員を中心に各教科担任が共通の様式を用いて作成している。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業の出席率（80%以上）、年4回の定期試験、レポート、授業態度などを総合的に判断して評価し、各教科100点満点中60点以上であることを単位修得の条件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校学則において、各学科に定められた授業科目のすべてを履修し、単位を取得した者について卒業を認定することを定めている。また、環境土木工学科及び測量情報科については、国土交通省国土地理院の認定を受けた測量専門養成施設として、測量士補の校内実力（学力）試験に合格することも卒業要件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。

学修支援等
(概要) 生活指導、学科指導、就職指導担当教員を配置し、学校全体として組織的な学修支援を行っている。また、HR担任制により、担任と学生が学習に関する問題のみならず学生生活の様々な悩みについて相談できる状況の中で、常に学生・保護者・学校が密接に連携の取れる体制になっている。学校保健計画にもとづき学校保健委員会が設置され、学生の健康管理がなされている。特に、学校医により健康診断をはじめとする健康・保健指導が行われている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 公務員（北海道開発局、都道府県庁、市町村）、建設会社、測量会社、建設コンサルタント			
(就職指導内容) 担任・主任教員による面談、インターンシップ、業務説明会、企業訪問等を通し、学生の進路希望を明確にしている。学生の活動状況に合わせ、エントリーシートの添削や面接練習等を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 測量士、測量士補、2級土木施工管理技士（1次）、2級管工事施工管理技士（1次）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) なし		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	造園緑地科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2820 単位時間	1350 単位時間	540 単位時間	1170 単位時間	150 単位時間	0 単位時間	
			3210 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
30 人		15 人	0 人	10 人	6 人		16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 教育課程編成委員会の意見を受け、主任教員を中心に各教科担任が共通の様式を用いて作成している。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業の出席率（80%以上）、年4回の定期試験、レポート、授業態度などを総合的に判断して評価し、各教科100点満点中60点以上であることを単位修得の条件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 本校学則において、各学科に定められた授業科目のすべてを履修し、単位を取得した者について卒業を認定することを定めている。また、環境土木工学科及び測量情報科については、国土交通省国土地理院の認定を受けた測量専門養成施設として、測量士補の校内実力（学力）試験に合格することも卒業要件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。	
学修支援等	
（概要） 生活指導、学科指導、就職指導担当教員を配置し、学校全体として組織的な学修支援を行っている。また、HR担任制により、担任と学生が学習に関する問題のみならず学生生活の様々な悩みについて相談できる状況の中で、常に学生・保護者・学校が密接に連携の取れる体制になっている。学校保健計画にもとづき学校保健委員会が設置され、学生の健康管理がなされている。特に、学校医により健康診断をはじめとする健康・保健指導が行われている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 公務員（北海道森林管理局、北海道開発局）、造園会社、建設会社			

(就職指導内容) 担任・主任教員による面談、インターンシップ、業務説明会、企業訪問等を通し、学生の進路希望を明確にしている。学生の活動状況に合わせ、エントリーシートの添削や面接練習等を実施している。
(主な学修成果(資格・検定等)) 樹木医補、自然再生士補、技術士補(森林部門)、測量士補、2級土木施工管理技士(1次)、2級造園施工管理技士(1次)、2級ビオトープ施工管理士、2級造園技能士、2級園芸装飾技能士、生物分類技能検定3級、2級エクステリアプランナーなど
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) なし		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	測量情報科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1350 単位時間	420 単位時間	0 単位時間	930 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1350 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人		15 人	0 人	10 人	6 人	16 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程編成委員会の意見を受け、主任教員を中心に各教科担任が共通の様式を用いて作成している。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業の出席率(80%以上)、年4回の定期試験、レポート、授業態度などを総合的に判断して評価し、各教科100点満点中60点以上であることを単位修得の条件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校学則において、各学科に定められた授業科目のすべてを履修し、単位を取得した者について卒業を認定することを定めている。また、環境土木工学科及び測量情報科について

は、国土交通省国土地理院の認定を受けた測量専門養成施設として、測量士補の校内実力（学力）試験に合格することも卒業要件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
学修支援等 （概要） 生活指導、学科指導、就職指導担当教員を配置し、学校全体として組織的な学修支援を行っている。また、HR担任制により、担任と学生が学習に関する問題のみならず学生生活の様々な悩みについて相談できる状況の中で、常に学生・保護者・学校が密接に連携の取れる体制になっている。学校保健計画にもとづき学校保健委員会が設置され、学生の健康管理がなされている。特に、学校医により健康診断をはじめとする健康・保健指導が行われている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 建設会社、測量会社、建設コンサルタント			
（就職指導内容） 担任・主任教員による面談、インターンシップ、業務説明会、企業訪問等を通し、学生の進路希望を明確にしている。学生の活動状況に合わせ、エントリーシートの添削や面接練習等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 測量士、測量士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） なし		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	環境土木・造園 施工管理科 環境土木コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1380 単位時間	720 単位時間	90 単位時間	480 単位時間	90 単位時間	0 単位時間
			1380 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人 ※造園コースと 合わせて		28 人	0 人	10 人	6 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会の意見を受け、主任教員を中心に各教科担任が共通の様式を用いて作成している。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業の出席率（80%以上）、年4回の定期試験、レポート、授業態度などを総合的に判断して評価し、各教科100点満点中60点以上であることを単位修得の条件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校学則において、各学科に定められた授業科目のすべてを履修し、単位を取得した者について卒業を認定することを定めている。また、環境土木工学科及び測量情報科については、国土交通省国土地理院の認定を受けた測量専門養成施設として、測量士補の校内実力（学力）試験に合格することも卒業要件としている。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
学修支援等
（概要） 生活指導、学科指導、就職指導担当教員を配置し、学校全体として組織的な学修支援を行っている。また、HR担任制により、担任と学生が学習に関する問題のみならず学生生活の様々な悩みについて相談できる状況の中で、常に学生・保護者・学校が密接に連携の取れる体制になっている。学校保健計画にもとづき学校保健委員会が設置され、学生の健康管理がなされている。特に、学校医により健康診断をはじめとする健康・保健指導が行われている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 建設会社			
（就職指導内容） 担任・主任教員による面談、インターンシップ、業務説明会、企業訪問等を通し、学生の進路希望を明確にしている。学生の活動状況に合わせ、エントリーシートの添削や面接練習等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級土木施工管理技士（1 次）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	環境土木・造園 施工管理科 造園コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1410 単位時間	600 単位時間	180 単位時間	600 単位時間	90 単位時間	0 単位時間
			1470 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人 ※環境土木コースと 合わせて		0 人	0 人	10 人	6 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会の意見を受け、主任教員を中心に各教科担任が共通の様式を用いて作成している。 入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。

成績評価の基準・方法
(概要) 授業の出席率（80%以上）、年4回の定期試験、レポート、授業態度などを総合的に判断して評価し、各教科100点満点中60点以上であることを単位修得の条件としている。入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校学則において、各学科に定められた授業科目のすべてを履修し、単位を取得した者について卒業を認定することを定めている。また、環境土木工学科及び測量情報科については、国土交通省国土地理院の認定を受けた測量専門養成施設として、測量士補の校内実力（学力）試験に合格することも卒業要件としている。入学時にガイドブック・シラバス冊子を配布かつ説明し、学生・保護者へ公表している。
学修支援等
(概要) 生活指導、学科指導、就職指導担当教員を配置し、学校全体として組織的な学修支援を行っている。また、HR担任制により、担任と学生が学習に関する問題のみならず学生生活の様々な悩みについて相談できる状況の中で、常に学生・保護者・学校が密接に連携の取れる体制になっている。学校保健計画にもとづき学校保健委員会が設置され、学生の健康管理がなされている。特に、学校医により健康診断をはじめとする健康・保健指導が行われている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 建設会社			
(就職指導内容) 担任・主任教員による面談、インターンシップ、業務説明会、企業訪問等を通し、学生の進路希望を明確にしている。学生の活動状況に合わせ、エントリーシートの添削や面接練習等を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級土木施工管理技士（学科）、2級造園施工管理技士（学科）、3級造園技能士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) なし		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
環境土木 工学科	150,000 円	440,000 円	480,000 円	
造園緑地 科	150,000 円	440,000 円	480,000 円	
測量情報 科	150,000 円	440,000 円	480,000 円	
環境土 木・造園 施工管理 科	150,000 円	440,000 円	480,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sapporo-kouka.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 業界関係者2名、企業等委員2名、卒業生1名、地域住民1名で構成される 委員会の時期 年2回（10月、3月） 主な評価項目 1 教育理念・目標、2 学校運営、3 教育活動、4 学修成果、5 学生支援、 6 教育環境、7 学生の受け入れ募集、8 財務、9 法令等の遵守、10 その他 評価結果の活用方法 学校関係者評価委員会で提示された重要かつ実現性の高い課題を中心に、重点項目 として順次改善を図っている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人札幌建設業協会	2024年4月1日 ～2026年3月31日	業界関係者
一般社団法人札幌造園協会	2024年4月1日 ～2026年3月31日	業界関係者
株式会社イーエス総合研究所	2024年4月1日 ～2026年3月31日	企業等委員
株式会社園建	2024年4月1日 ～2026年3月31日	企業等委員
札幌工科専門学校同窓会	2024年4月1日 ～2026年3月31日	卒業生
モエレ町内会	2024年4月1日 ～2026年3月31日	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sapporo-kouka.ac.jp/disclosure/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sapporo-kouka.ac.jp
--